

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

日本と韓国の過去・現在・未来 ～共に生きる隣人として～



日韓関係は、「徴用工」をめぐる2018年の韓国大法院の判決をきっかけに対立が拡大しました。韓国社会が、被害者の尊厳の回復を求める背景には何があるのでしょうか。日本が東アジアの人々と共に生き、人として互いに尊重される社会をつくるために、過去に向き合い、未来を見つめて何ができるかを共に考えましょう。

講師：太田 修 さん（同志社大学グローバル・スタディーズ研究科）

日時：2021年 **9月19日**（日）10:00～16:00

場所：京都市国際交流会館（kokoka）（裏面に地図）

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1 TEL.075-752-3010

日程・会場が
当初予定から
変更になって
います。

参加費：3,000円（食事代は含みません。昼食は各自またはオプション。）

*Webサイト（申込フォーム）、Fax（裏面書式）、電話、メール等でお申込みください。

*申込締切：9月15日（水）、または定員25名に達し次第。（締切日以降は、電話でお問い合わせください。）*部分参加については事務局にお問い合わせください。

◎ 昼食（オプション）キッチンハリーナのお弁当 1,000円（税込）

京都市・京北「耕し歌ふあーむ」などの新鮮な、低農薬・無農薬野菜を使っています。

ご希望の方は、申し込み時にご予約ください。（9月16日締切）

キッチンハリーナ <https://kitchen-halina.jimdofree.com/>

新型コロナウイルス感染の状況によって、中止、変更する可能性があります。その場合は、当センターウェブサイトなどでお知らせします。（お申込の方には、個別にお知らせします。）

太田 修 おおた おさむ

同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授

朝鮮現代史、近現代日朝関係史専攻。主な論著に『〔新装新版〕日韓交渉—請求権問題の研究』（クレイン、2015年）、『朝鮮近現代史を歩く—京都からソウルへ』（思文閣出版、2009年）、編著に『植民地主義、冷戦から考える日韓関係』（同志社コリア研究センター、2021年）などがある。

◎ セミナー当日のタイムテーブル

- ・ご出発前に、**検温**をお願いします。（未確認の場合、来場時にお願いいたします。）
- ・ご体調のすぐれない方は、参加をお控えください。・セミナー中、**マスク**の着用をお願いします。

9:30 ~ 受付（検温結果、体調もお尋ねします）

10:00 ~ 12:00 【セッション1】 植民地支配・戦争被害について対話し続けることの可能性

- ・アイスブレイク
- ・映像
- ・太田さんのお話
- ・話し合い



12:00 ~ 13:00 昼食

13:00 ~ 16:00 【セッション2】 大法院の判決を歴史の中で読み解く
— 取り残された人々の訴えから

- ・ミニワーク
- ・太田さんのお話
- ・話し合い
- ・ふりかえり



16:00 閉会

◇ 2021年度 開発教育セミナー 次回予定

第4回 10月10日(日) 会場：京都市地域・多文化交流ネットワークサロン（予定）

「私たちは気候変動を食い止めることができるのか？」

講師 伊与田 昌慶 さん（特定非営利活動法人気候ネットワーク主任研究員）

* プログラムの詳細・最新情報は、当センターウェブサイト（<http://www.academy-kansai.org>）にも随時掲載いたします。

<主催>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

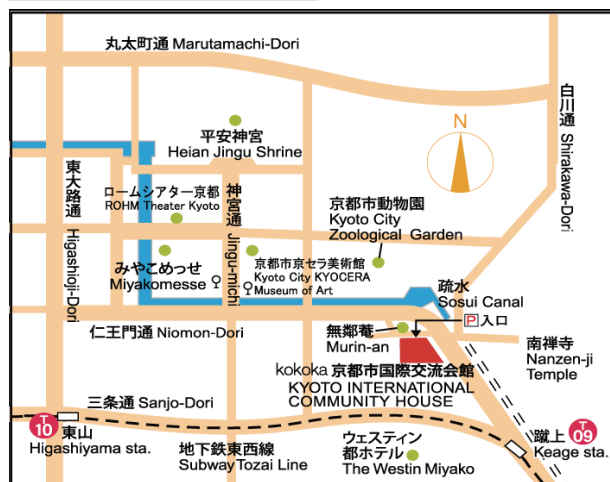
Eメール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木（とき）

[2021年度 第3回 開発教育セミナー申込書]

京都市国際交流会館 アクセス



- ・京都市営地下鉄東西線「蹴上(けあげ)」出口②より徒歩6分
- ・京都岡崎ループバス「動物園東門前」徒歩1分
- ・市バス⑤系統「岡崎公園・美術館・平安神宮前」徒歩10分
- ・駐車場(有料)
- ・自転車・バイク駐輪場(無料) (送迎はありません)

(フリガナ)

名前

所属

住所〒

電話 () - FAX () -

電子メール: @

通信欄: